

演習 4

問題：Excelを開いて文字を入力し、保存するロボットを作成しましょう

目的：「アプリ起動」コマンドと「値を入力」コマンドをマスターする

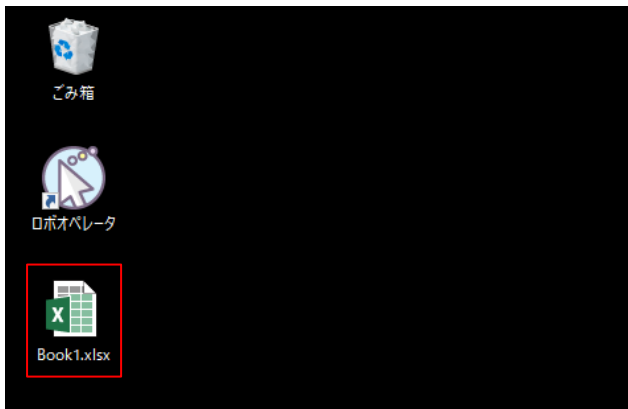
Book1.xlsxに文字列を入力し、保存するロボットを作成してみましょう。

- ① Book1.xlsx を開きます。(高度機能のアプリ起動を使います)
- ② 文字列を入力します。(Excel の「値を入力」を使って”これは Excel です。”という文字列を入力してみましょう)
- ③ 上書き保存をします。(Ctrl + S のショートカットキーを使います)
- ④ Book1.xlsx を終了します。(Alt + F4 のショートカットキーを使います)

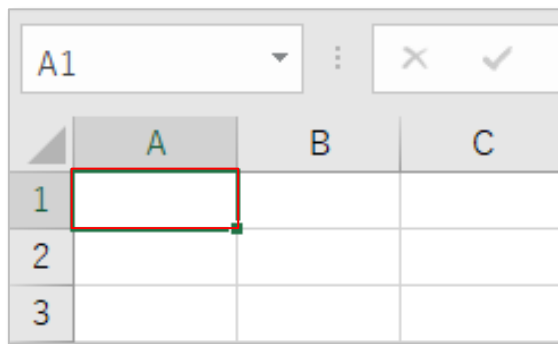
(製作目標時間 10 分)

・事前準備

演習問題④に付属している Book1.xlsx をデスクトップに配置してください。



今回は、Book1.xlsx の列”A”行”1”に文字列「これは Excel です。」を入力します。



演習 4 解答

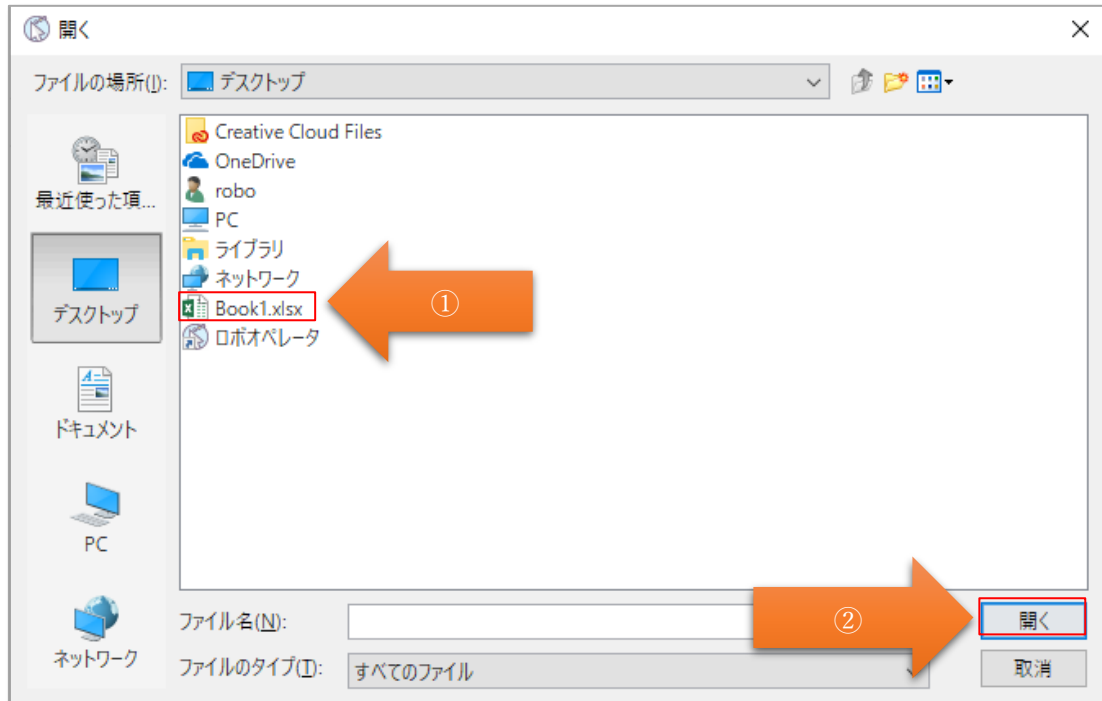
① Book1.xlsx を開きます。

⇒ここでは「アプリ起動」で Book1.xlsx を開く動作を作ります。

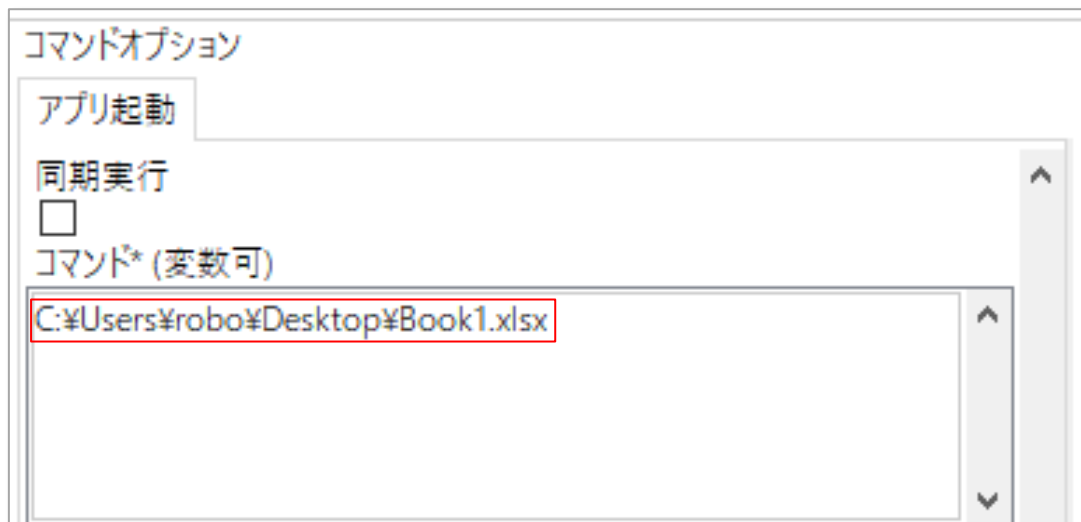
(1)[高度機能]タブよりアプリ起動をクリックします。



(2)下図のようなウィンドウが開きますので、①デスクトップに配置した Book1.xlsx を指定し、②「開く」ボタンを押下します。



ここで、「アプリ起動」のコマンドオプションの「コマンド*(変数可)」に Excel ファイルとその格納先が表示されていることを確認してください。（今回の場合は、「C:Users¥ユーザー名¥Desktop¥Book1.xlsx」となります。）



② 文字列を入力します。

⇒ここでは「値を入力」コマンドで Book1.xlsx のセルに文字列を入力する動作を作ります。

(1)[Excel]タブより「値を入力」コマンドをクリックします。



(2)「値を入力」のコマンドオプションの各項目を入力していきます。

1. 最初にファイルパスを入力します。

「参照」ボタンをクリックします。

コマンドオプション

Excel 値を入力

ファイルパス (変数可)

参照...

列 (変数可)

行 (変数可)

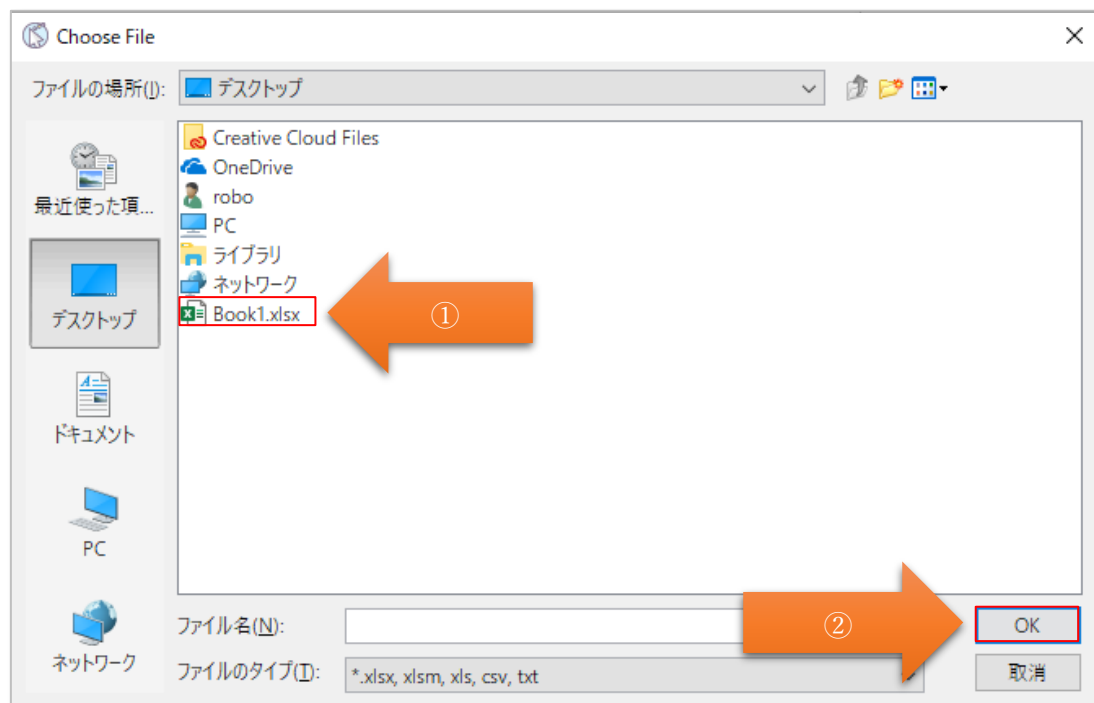
入力値* (変数可)

最前面に表示

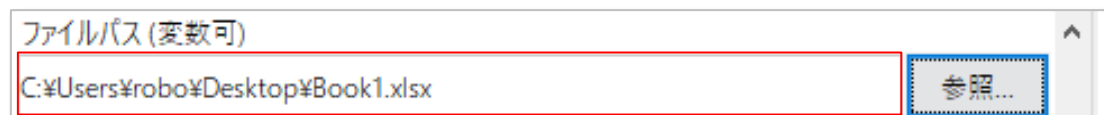
☐

コメント

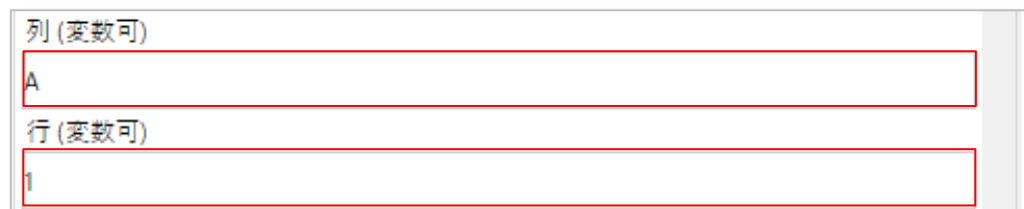
「Choose File」ウィンドウにて、①デスクトップに配置した Book1.xlsx を選択して②「OK」ボタンをクリックします。



すると、ファイルパスの欄にこのように入力されます。



2. 次に入力するセルの列と行を入力します。
今回は、列”A”と行”1”を入力します。



3. 最後に入力する文字列を指定します。

入力値* (変数可)
これはExcelです。

コマンドオプションの記入内容は以下の通りです。

コマンドオプション	
Excel 値を入力	
ファイルパス (変数可)	
C:\Users\robo\Desktop\Book1.xlsx	参照...
列 (変数可)	
A	
行 (変数可)	
1	
入力値* (変数可)	
これはExcelです。	
最前面に表示	<input type="checkbox"/>
コメント	

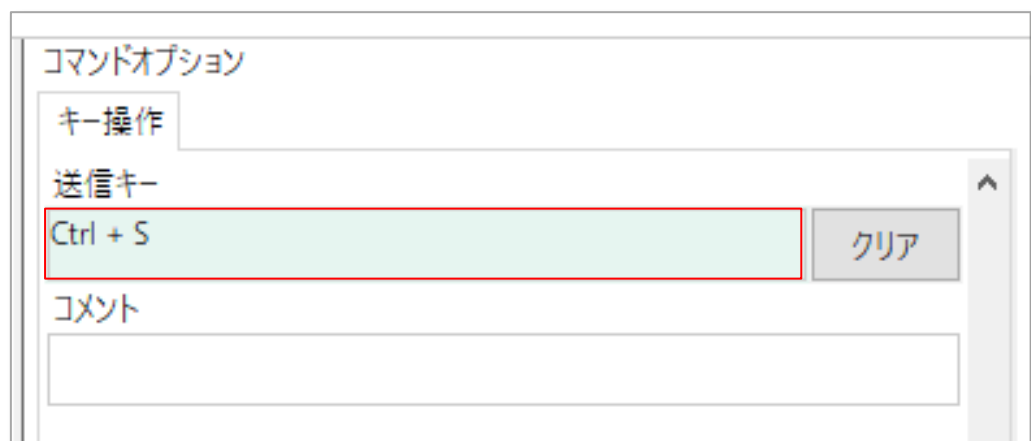
③ 上書き保存をします。

⇒ここでは「キー操作」コマンドを用いて上書き保存をする動作を作ります。

(1)[キーボード]タブから「キー操作」アイコンをクリックします。



(2)[送信キー]のコマンドオプションの入力フォームにコントロールキー(Ctrl)と S キー(S)を入力してください。



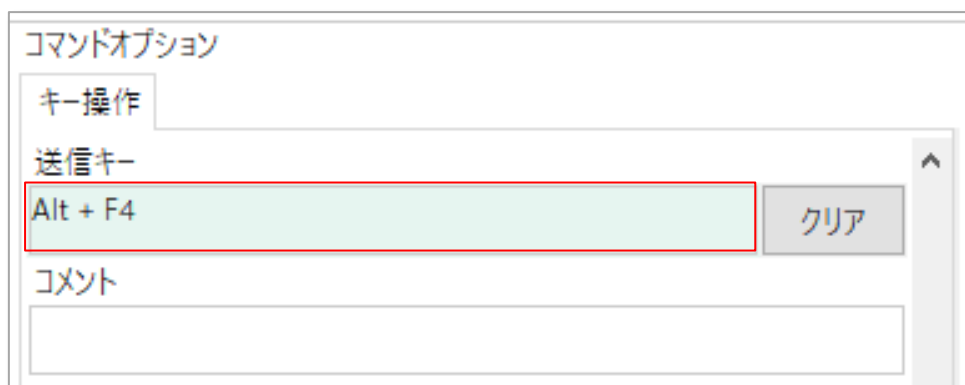
④ Book1.xlsx を終了します。

⇒ここでは「キー操作」を用いて「Alt + F4」を入力し、Book1.xlsx を終了する動作を作ります。

(1)[キーボード]タブから「キー操作」アイコンをクリックします。



(2) [送信キー]のコマンドオプションの入力フォームにオルタキー(Alt)と F4 キー(F4)を入力してください。



演習 4 解答 完成図

これで完成です。完成したロボオペレータは以下の通りです。

main			
	コマンド	ターゲット画像	入力内容
1	アプリ起動		コマンド: C:\Users\robo\Desktop\Book1.xlsx
2	Excel 値を入力		ファイルパス: Book1.xlsx 列: A
3	キー操作		送信キー: Ctrl + S
4	キー操作		送信キー: Alt + F4

実行してみましょう。「全コマンドを実行」アイコンをクリックします。



Book1.xlsx を開いて確認してみましょう。セルに「これは Excel です。」が入力されています。

